令和6年度　新発田市立加治川中学校グランドデザイン

ひとが第一　ひとが大事　新発田の教育

新発田への愛着と誇りをもち夢や希望に向かって学び続ける子ども

「知」：主体的に学ぶ態度

「徳」：自他の命を大切にする心

「体」：健康で安全に過ごす態度

加治川中学校　教育目標

豊かな知性を育て
きびしく自己をきたえ
高め合う生徒

地域の特色

「桜の里」として有名な地域である。日本一低い「櫛形山脈」に隣接しており、旧加治村が学区であり、一小一中の地域で学校運営を支援している。学校に対する期待も大きく、関心も高い。

生徒の実態

- 素朴で、素直な生徒が多い。
- 学力向上、部活動への意欲的な姿勢が見られる。
- リーダーを中心に生徒会活動が展開されている。
- 集団生活で支援が必要な生徒がいる。

重点目標「かかわり合い」を大切にした心の育成を目指す学校づくり

豊かな心をもち　主体的に学び　行動できる生徒

地域・保護者・教師が目指す生徒像

『心の教育』を根幹とした教育活動の推進

【大切にしたい５つの心】

正義（差別・いじめを許さない）の心　思いやりの心　あきらめない心　感謝の心　素直な心

【目指す学校像】
「かかわり合い」を通して安心して学べる学校

【目指す教師像】
生徒、保護者の心に寄り添い、常に学び進化できる教師

	知育【学力の向上】	徳育【こころの教育】	体育【健康・体力づくり】
成果目標	①授業が「分かる、できる」を実感できる生徒の割合を90%以上にする。 ②学び合いにより理解が深まった割合を90%以上にする。 ③「意欲的に授業に取り組んだ」といえる生徒の割合を90%以上にする。 ④「家庭学習に毎日、１年生70分、２年生80分、３年生　90分以上取り組んでいる」生徒の割合を80%以上にする。	①アンケートで、「学校生活が楽しい」と感じる生徒を90%以上にする。 ②人権教育、同和教育、道徳に関するアンケートで、「いじめや差別はどんな理由があってもいけないことだと思う」生徒を100%にする。 ③学級や生徒会の活動、行事で、「だれとでも各活動で話し合いや協力ができる」と答える生徒を80%以上にする。	①１学期体力テストの結果、県平均以上になる項目を60%以上にする。 ②自分の決めた起床時間、就寝時間、メディア時間を意識した生活を送っている生徒の割合を７５%以上にする。
目標達成に向けた教育活動	・「ねらい」「流れ」「課題」「まとめ」「振り返り」を明確にした授業をする。 ・「学び合い」の場面で、自分の思いや考えをまとめ、表現し、活用する授業を行う。 ・ペアやグループ等互いにかかわる活動を実施する。 ・家庭学習の習慣化に向け、自学ノートを活用した家庭学習を毎日行い、励ます。 ・終学活で家庭学習のプランニングタイムを行い、　宿題や自学ノートに取り組んだ生徒を80%以上にする。	・道徳授業で積極的に対話を用いて自他理解を深める。 ・生徒の人権問題や同和問題に対する意識を高めるため人権教育・同和教育に関する授業を、人権教育週間に全校体制で積極的に実施する。 ・学級の係活動・班活動では一人一役を原則とし、生徒の活動を通し、役割を果たしたと実感できる場面を設定する。 ・異学年交流や全校で取り組む仕掛けを設け、他者理解活動を活性化する。	・生徒の体力向上を図るため、体育授業時に５分間走と補強運動を継続して行う。 ・体力向上確認のため、１年生と２年生は１、２学期に体力テストを行う。その結果を比較し、弱点種目の補強に取り組む。 ・学年集会や学活、保健体育授業等で、規則正しい生活習慣を行う指導を年に３回以上実施する。 ・ＳＮＳに関する指導・講演会を定期的に行い、メディアコントロールの意識を高める。

学校評議員会

〇地域と学校が目標やビジョンを共有するコーディネートを行う
〇様々な教育活動で地域と連携、協力し共に歩む
〇地域全体で子どもたちの学びや成長の支援をする

地域への愛着　地域連携　地域学習　キャリア学習　生きる力

地域住民　民生児童委員　協働

学校同窓会　教育振興会　地域コーディネーター　支援

研修の充実

〇指導要領の趣旨を生かした授業改善
〇防災教育、平和教育及び人権教育、同和教育の研修
〇豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実を目指す研修
〇人間関係づくり等の社会性育成に対応する研修
〇非違行為・公務災害の撲滅に向けた研修

保護者・家庭へ

〇学校だより、ホームページ、メール等による情報の提供
〇保護者への報告・連絡・相談・確認の徹底
〇保護者アンケートの実施と学校評価
〇PTAとの綿密な連携
〇学校行事等における地域交流の推進